

ヤングケアラーたちの生の声

特定非営利活動こどもソーシャルワークセンター
ヤングケアラー支援強化事業担当 東岡 伶弥

自己紹介

4人兄妹 兄（27）、自分（26）、妹（25）、妹（19）

小学1年生の時に父親が**クモ膜下出血**に。（妹が産まれて2週間後）

妹2人は乳児院と親戚の家に。兄と自分と母の3人で生活が続く

母は中卒で、正規職に就けず。車中で発狂や、突然泣き出したり、体重が1ヶ月で15キロ落ちたり（病院には行かず、うつ病などとは診断されず）

父親が退院するも後遺症が（のちに難病指定）

働くことができず、極貧生活を送る。

電気代が払えず1週間**ろうそく**で明かりを。

ガス代が払えず、鍋で湯を沸かして体を洗う。

冷蔵庫に何もなく、ウスターソースとご飯をかき混ぜて食べるなど

母子手当や生活保護（お金）を得るために離婚することに……（小3時）

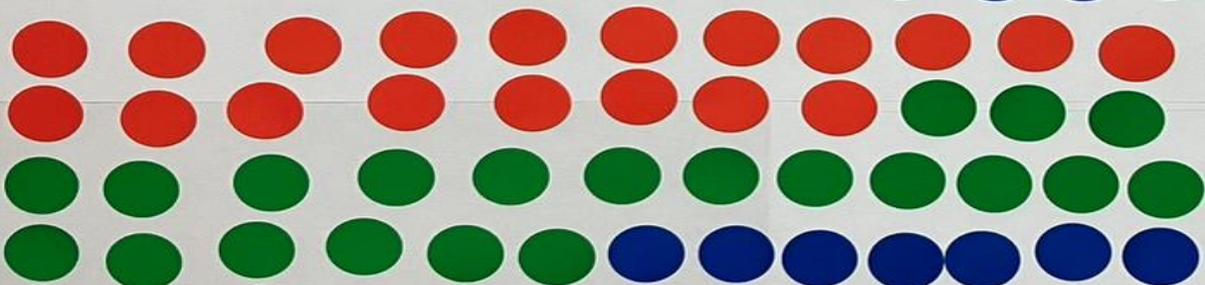
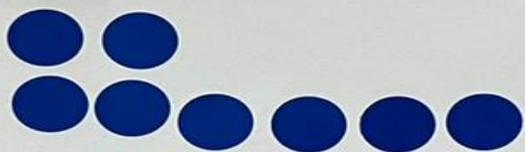
衝突した問題…

- 父・母の面倒・世話
- 妹を連れて遊びに
- 絶えない兄妹喧嘩
包丁で兄を刺し殺そうと。喧嘩は血まみれに。
- 妹が出産、育児
甥っ子の世話を自分がすることに
- CWや保健師は話をするだけで全く助けてくれず
- 家を出ても終わらず、妹が飛び降り未遂

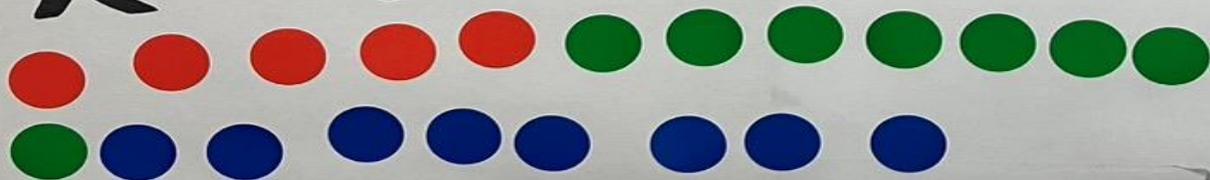
「ヤンワケケアラー」という

言葉と

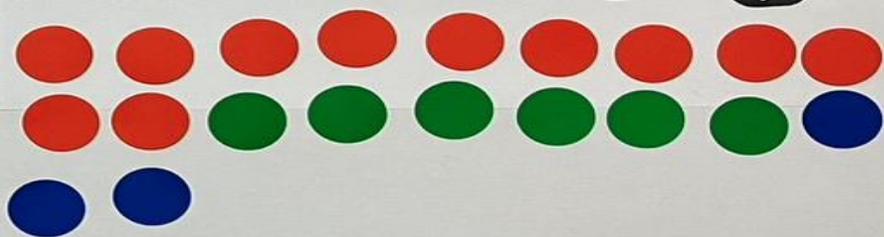
知っている!



知らない ...



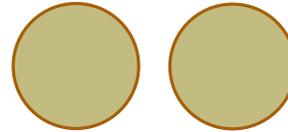
聞いたことが
ある



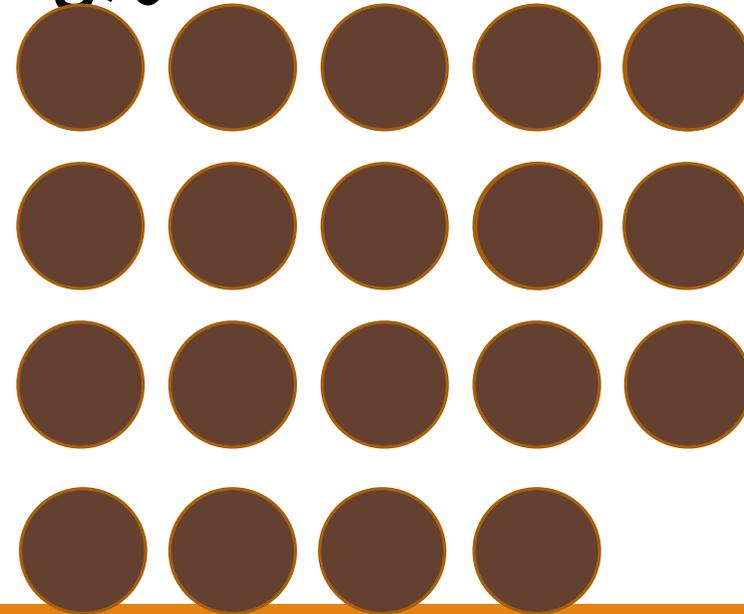
このポスター見たことある？



・ある！



・ない



当事者からは…

**「ヤングケアラー」という言葉を
知っている、聞いたことがある人は
多いけど…**

**認知されてからのアクションがない
「言葉は知っている」で終わっている**

活動を通して聞こえたヤングケアラーたちの声

なぜ相談に繋がらないのか？

- 自分がケアラーと思ってない
(チラシとか見る余裕ない、自己責任論を持つ「自分が悪い」「家が悪い」)
- 相談しても解決しない
- 家族のことに入って欲しくない、抵抗がある
- 本人自身が諦めている
- 家族が拒否する、すると思ひ込んでしまう
- 電話やチャットが嫌

- 身近な人に話したい
- 知らん人に話したくない
- 支援のイメージがつかない
(具体的な支援策を説明して！)
- 話したくない、逃げになる
- 相談するされるの関係が嫌
- 相談しても変わらない、家族にバレて大事になる。罪悪感を持っている

どうしたらいいだろう？

- 公務員や年齢が離れていると話しづらい
- ズケズケ聞いてこない
- 自分で支援方法を選べる
- 話しやすい環境の整備
(関係性や信頼を高めて！)
- 支援規模や機会を増やす
- 相談することのハードルが高い
- 先生は無責任だから意味ない
- 相談が作業になっていないか？本人が一番必要としてい
ることを知って！
- 学校の先生を挟んだほうが
お互い楽かも？先生に知って
もらう

どんな支援やサービスがあるといい？

- ・ 放課後に集まれる場所を作る
- ・ 廃棄される**食べ物**を**家庭に寄付**
- ・ 第三者の立場から、**学校**を欠席することへの配慮をして欲しい
- ・ センターのような**落ち着ける場所**、色々な人との友達作りができる**場所**が欲しい
- ・ ケアラー、ケアされる人両方に支援が必要
- ・ 金銭面での支援や言語化の手伝いなど
- ・ 精神障害について行政側が理解する
- ・ (ヘルパー等が) 家の中に入ってくることは抵抗がある
- ・ 自分の気持ちを話せる**場所や相手**が欲しい

18歳を超えた若者にも手厚い支援を！

周りの人たちはどうすればいい？できることは？

- 友達から話を聞いても**どうしたらいいか分からない**。相談されて抱え込んでしまうかも
- 友達は反応に困ったり、どのくらいしんどいかわかってもらえなかった
- 困ったときは周りに言いたいが、**ラフに、深刻ならずに受け止めてほしい**
- **先生**なら「大変だな」「頑張っているな」と褒めてほしい
- **なんでも話せるような関係づくりが大事**
- **中高生が自分の足で行ける場所に居場所がない**。作りたいが**お金は出ない**。
- CMでは**地域のおじいさん**が子供に声掛けをしているが、**友達が声を掛けられる関係性ができたら…**

● 相談窓口には相談したことある？

- 自分がどうであると思えることにはなるしろう。
- 相談するほどのことかどうかが...
- 相談することでのつらさ (しんどさを感じる何回も話す)
- 相談窓口の担当者の異動で、内容がリセット
- 個人情報共有して
- カードはすぐ返す (興味をなくしないように返さない)
- マシカ... 見せたいもの、興味あると見せたいものを
- 子いも人権11番「SOSミニター」
- おいらまた、こちらがわかるのか? etc...
- 相談しにくくなった

● 相談して?

- ネット相談はつらからず、返ってこない
- ネット相談の受け手に合う合わないがある
- 話しを聞いて!
- 共感して!
- 解決して!

ひっくりで
相談窓口? はちかう

髪も時間も、リズムも... こともいろいろとある
居場所でもって、どこかに行く”行動”をできる。ネットも
ほら (日常からいはず環境)
当事者の非日常空間出し、とあつりまにないしけい

これだけは言わせて!

◎ 一保のりかじ

- 「携帯のりかじ、ドバイー(お母)、本気か、学校へ行って!
- “うちら飛んとして入ってきた?” と思えては、
- 「おいらお母さんや... と思えては、
- 「なんでかくされた? (あつては、お母さんや...)
- 関係者間には勝手に共有しては、
- 自分には、他人に話すとは、お母さん、矛盾...
- 人間として見してほしい

◎ 精神科のイキ...

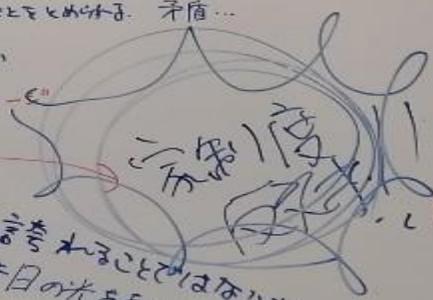
カウチングセラピーは言葉でやることではないか
下女、下男の役割は日の光とあびることではないか

◎ グレーゾーンケア

- 存在化してケア
- (香親、感情の起伏がはげしくお母さん)
- 国々言う例以外に、多国籍家族、手段が
ケアにつらからず、いも子もいる。
- 世間一般の「本家の地」が、自分にはあつては、
- (相談にいらさない、お母さん、お母さん、お母さん...)
- 周囲は知っているけど、お母さん、お母さん、お母さん...
授業内でケア... 相談窓口、相談窓口、相談窓口...
ワンポイント、ワンポイントで、ケアの本質を把握は、

◎ ケアの切り離し

悲観的、おいら、おいら...



「ヤング・ブレイク」
「1st of 1st」

全国学力調査を
おいらも参加したい!
家庭内の状況を
知るツール、調査を!

正規
で「ワーク」

人間の心
← 養育制度の名残、(見下しの特徴)

縁(家族、恋人等)との
切り離しができる環境があるのか、

「家族はみんな! お母さんや?」

個々の価値観、日本の文化からケアを
認めさせては、

「ドラえもんも、動物話...」

あつては、あつては...

洗剤

「おいら...」
「おいら...」

社会に伝えたいこと!!

大人に、行政に、政治家に、

- 数字上、資料上で見ず、分かった気持ちにはならず、生の声を現場に来て聞いてほしい。
→ 予算を上げて!
- 現場に来ない人が、スローモーションをしないでほしい!
- 学校でヤングケアラーについて勉強する機会を。
- 自分たちはこうだった。昔はこうだった。etc 価値観を押しつけて!
- ずさんなアンケート調査しないで!
- 地域には、その地域に合った、合わせたといけぬ方法がある。国のモデル事業をそのまま、全国でやらせてはいけません。各県のみと考える事業運営を。
- 会計年度任用職員制度 廃止して! 専門職、ワーカー、相談員。も、大事にして → 支援者の生活を成り立たせて。
選考で子育て支援を上げる時には、ちゃんとして、^(ワーカーのケア等...) 十分に、子どもを道具にしないで
- 1学校1ワーカー(専門性のあるワーカー) ←
- 子どもに何度も話させて! (情報共有、引きつぎ、子ども)
- 子どもにヤングケアラーを認知させて、居場所があることを知らせて! (無料の過剰な地域の居場所を) (恒久予算)
- 手軽に利用できる制度運営を(ヘルパー、訪問看護)
- 障害年金引上げて、18歳まで医療費、歯科無料
- 明日印を見留て

子ども
○ 当
○ 子
○ 子
○ 大
○ 巻
(

子どもたちの意見表明の機会を!

- 当事者だけの子ども議会
- 「子どもが話す、だけで、おわらせてない、予算化、制度化、しくみ化につなげて。
- 大人の問題の解決に、子どもの判断をゆだねない。
巻き込ませない。
(夫婦間、離婚、過保2" etc ...)

相談について

自分がそうであると認めてしまう

相談するほどのことか？と思う

何回も話すことでしんどさを思い出す

担当者の異動で内容がリセット

個人情報共有してほしい

学校で配られる相談窓口のカードやチラシは捨てる（興味をひかない）意味がない

・子ども人権110番（SOSミニレター）に送ったら怒られた。以後、相談したくなくなる

・ネット相談は繋がらない、返信がこない

・相談役との相性がある

年齢が低い子どもほど、相談しない。愚痴を吐く

大人に、行政に、政治家に、社会に伝えたいこと

- 数字上 資料上でわかった気持ちにならないで、判断しないで
- 生の声を現場に来て聞いてほしい
- 予算をあげて
- 現場に来ない人がスーパービジョンをしないで欲しい
- 学校でヤングケアラーについて勉強する機会を 子どもたちに認知させて
- 自分たちはこうだった、昔はこうだったなどと価値観を押し付けないでほしい
- ずさんなアンケート調査をしないで
- 地域にはその地域に合う、合わせないといけない方法がある
- 国のモデル事業をそのまま全国でやらせてはいけない 各県がもっと考えて事業運営をしなければならない
- 会計年度任用職員制度を廃止して
- 専門職やワーカー相談員をもっと大事にして 支援者の生活を成り立たせて
- 選挙で子育て支援を上げる時にはちゃんとして！形にして！子供を道具にしないで

大人に、行政に、政治家に、社会に伝えたいこと

- **1学校に1ワーカー**（専門性のあるワーカーの配置を！）
- 子供に何度も話させないで（情報共有や引き継ぎなどで）
- **居場所があることを知らせて**
- **無料で過ごせる地域の居場所を！恒久予算で安定した運営を！**
- 手軽に利用できる制度の運営を（ヘルパーや訪問介護など）
- 障害年金を引き上げて
- **18歳まで医療費を無料に！ 歯科を無料に！**
- 明石市を見習って
- **子供たちが意見表明する機会を作って**
- **当事者だけの子ども議会を！**
- **子供が話すだけで終わらせず、予算化、制度化、仕組み化につなげて**
- **大人の問題の解決に子供の判断を委ねないで巻き込まないで（夫婦間の喧嘩、離婚、過保護など）**